

生まれ育った「はむら」のために…！

初心を忘れずに！

私は地元羽村で生まれ、羽村で育った「はむらっ子」です。市議会議員として4期14年、市長として1期4年働かせていただきました。

18年前の初挑戦の時の気持ちを忘れることなく、豊かな水と花と緑に囲まれた郷土「はむら」を誇りとし、この素晴らしい「はむら」の文化と財産を未来に向かって大切に守っていききたいと思います。そして、未来を担う子ども達、またお年寄りや障がいのある方、すべての皆さんが「安心・安全・快適」に暮していけるまちづくりを目指し、全力を注いでまいります。

橋本 ひろたか



略歴 昭和28年12月17日 生まれ 71才 駒澤大学経済学部 卒業
羽村市議会議員、羽村市消防団長、羽村市監査委員、羽村市商工会青年部副部長、
福)松栄福祉会 理事長(羽村まつの木保育園、まつぼっくり保育園・子育てカフェ「メリメロ」)などを歴任
現在 羽村市長、東京都市町村職員共済組合 理事長、(有)橋本園 取締役
趣味 愛犬との散歩、鮎つり、孫の野球観戦

橋本ひろたか公式サイト



はしもと
橋本ひろたか
無所属
71歳

市民目線の誰かがやらなきゃ始まらない

守るものがある だから進む、あらがう、戦う

教育・子供

- ・学校再編という名の【縮小】中止
- ・少人数で細やかな愛のある教育現場を目指す。
※もし統合した場合、災害時の避難場所も無くなる。
- ・教育にまつわる教育現場の費用の改善

安全・福祉

- ・夏場は特に川の見回り強化(子供や大人の事故による死を無くす為)
- ・介護や障害をおもちの方の見守りも強化
- ・政府の進めている福島原発事故の除染土の受け入れ拒否
- ・PFAS(有機フッ素化合物)の調査
- ・突然の入院で住む場所を失ってしまった人への救済

公務

- ・適材適所の人事を行う
- ・自己責任という政府の方針により、市もそれに合わせ、公務の怠慢が日常化し、あぐらをかいている。
- ・市民が様々な支援を独自で探さなければならなくなっている事も多く、本来の市民の為の公務に切り替える
- ・市の宝である、子供達の成人式時に祝品を送る

YouTube配信

- ・困り事など色々会話を 市民の声を身近にする

区画整理

- ・住民との会話

予算があればやりたい事○

- ・地元の農産を買い入れ、市民に安く提供
- ・月一度の何かしらの支援

忙しく働かされてる皆さんに
伝えなきゃいけない事がある。
伝えなきゃならない！事がある、
残された時間はもう、そうは長くない。

本来、皆は最高法規の憲法により守られている
(選挙で権力を与えた者たちに対する縛り、他)

国会議員はその憲法に従い法律を作る。
でも今は、自分たち都合に解釈変更し、
法律が数々変えられ、作られ
自分たちのやりたい事はすぐ
閣議決定で決めている。

この状況は選挙でしか変えられない。
分断工作や、様々なメディアに騙されず
変えよう、変わろう。
希望の持てる国へ、市へ



シングルで子供が5人(2人は成人し自立)他に孫2人と暮らす。
私はしががない？大型運転手。今は輸出が減った為、再会するまで4トン横持ちの仕事をしています。



きむら
木村みき
無所属

投票日 **3 月 30 日 (日)**

投票時間 **午前 7 時から午後 8 時まで**

投票日当日、仕事やレジャーなどで投票所に行けない方は、期日前投票をご利用ください。

「みんなで投票 住みよい羽村」



本音で語り合える羽村

- 意見交換会の実施** ▶ 住民と対話できる副市長・教育長を指名し、住民と市長との意見交換会を毎年2回以上開催します。
- 現市政の見直し** ▶ 現市政の区画整理事業・ 小学校の大幅削減案を見直します。
- 住民中心の市政** ▶ 住民目線のこども政策・居場所づくり・経済支援を最優先課題とする政党などのしがらみを乗り越える住民中心の市政を実現します。

原 尚宏

40歳

羽村市長候補

1984年 羽村生まれ。玉水保育園、西小学校、第一中学校、都立昭和高校を卒業。
政党や非営利団体などで活動しながら、放送大学で政治・社会学を学びつつ、行政書士などの資格試験に合格しました。
大学卒業後、不動産ベンチャー企業や大手保険会社に勤務し、各種資格を取得しながら資産管理業務に従事しました。
29歳で中央大学法科大学院に入学し、法務博士号の取得後も市民運動に参加し、現行法や行政、法哲学の研究を続けて参りました。
コロナ禍では東京都に情報公開などを求める活動を行い、2022年より羽村市を中心とする市民団体を設立し、市の職員さんや議員さんとの対話をトータル200時間以上行って参りました。



▲Facebook



はら
原
たかひろ